

新

令和元年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

6月の貸し出し数は約450冊。
いい感じですね。

モリモリ書店

第23話 R01.07.04(木)
「凝り固まった常識を
飛び越えるために。」

★今回、紹介する本は、『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（著/プレイディみかこ、出版/新潮社）です。

イギリスのブライトンに住むライターのプレイディみかこさんは日本人。夫はアイルランド人で、中学生の息子との3人での海外生活。この本は、貧困や人種差別などさまざまな問題を抱える中学校での息子の生活を描いたノンフィクションです。

とっても重たいテーマですが、アイルランド人と日本人を親にもつ息子のキャラがすてきで、人種差別や格差問題に対しても、自分自身の価値観で素直に向きあっていく姿勢にすがすがしさを覚えます。



仲間を大切に、何事に対しても自分の目で見て、自分の頭で考えようとするこの若者の姿に、社会のゆがみだけでなく、自分自身の小ささにも気づかされる1冊です。多様性が叫ばれる今だからこそ読みたい1冊。未来は自分たちの手の中にあります。

もっと自分のことや社会、
世界、未来について
考えたい。といけなないなど。

「みんな違って、みんないい」
も難しい
よね。

『人を傷つけることは
どんなことでもよくない』
(p.70)

今のイギリスの現実が、ここにはつまっています。

『またく子どもというやつ
は止まらない。ずんずん進
んで変わり続ける。』
(p.252)

帯の
あすめコメントもすばらしい!!